



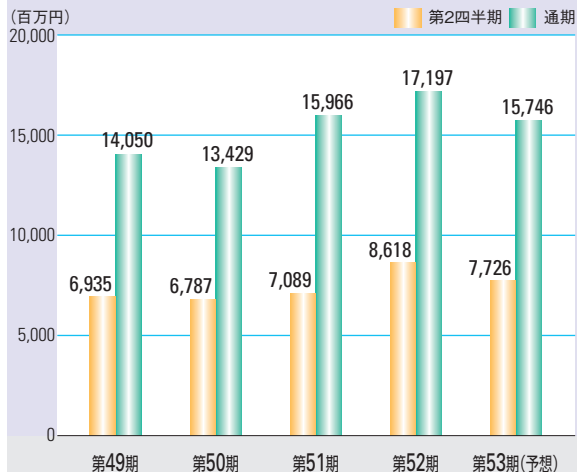
 **G.taste**
【株式会社ジー・テイスト】

第 52 期事業報告書

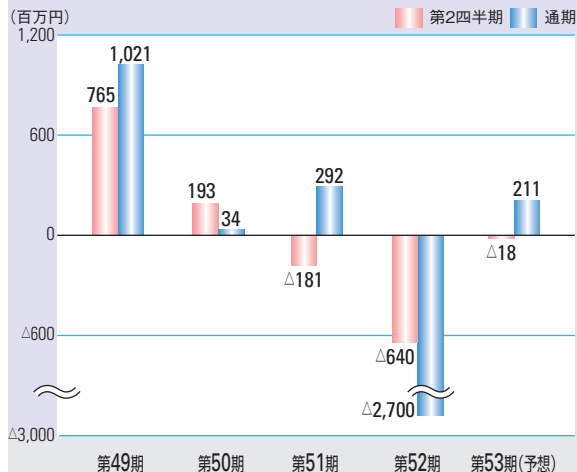
平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

財務ハイライト

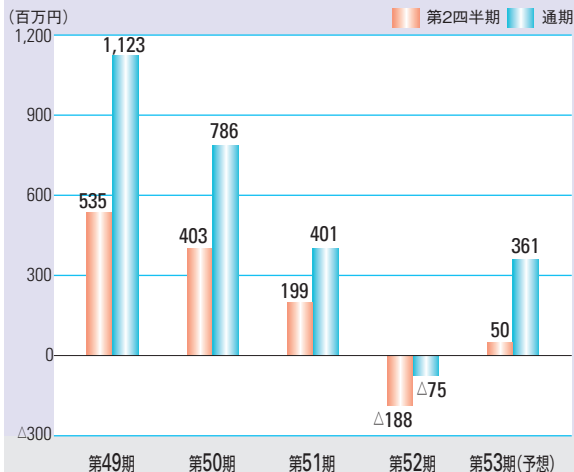
売上高



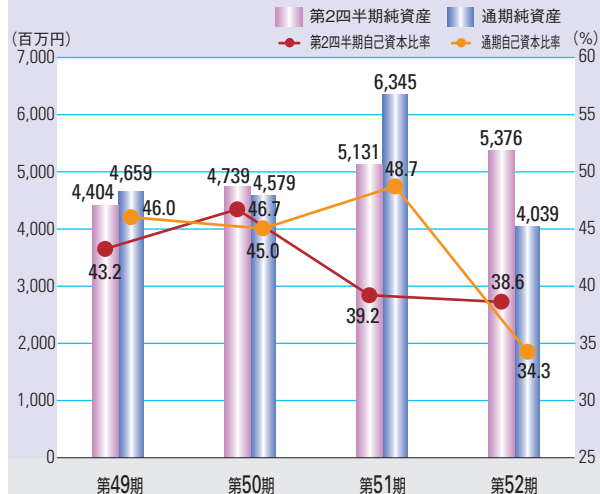
純利益



経常利益



純資産・自己資本比率





代表取締役社長

稲吉 史 泰

株主の皆様には、平素より格別のご支援ご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。また、このたびの東日本大震災により被災された皆様、またご家族、関係者の皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社におきましては、外食店舗1店舗、学習塾1校舎で営業再開が困難となり撤退したほか、長期間の休業を余儀なくされた店舗もあり、多くのお客様にご不便をおかけいたしました。さらに、津波により従業員2名の尊い命を失ってしまいました。また、本社事務所の一部天井が崩落する事態となり、例年より1カ月遅れての決算発表、株主総会の開催となり大変ご迷惑をおかけいたしました。「被災地に本社がある会社として、復興のシンボルとなれるような会社にG.tasteを絶対にしよう。」

この言葉を社是とし、社員一丸となって頑張っております。今後ともお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営成績

当事業年度におけるわが国経済は、政府の景気刺激策や新興国への輸出回復等により大企業を中心に緩やかな回復がみられました。一方で、欧米の景気減速や急激な円高の進行等により、雇用や所得に対する不安から国内消費は伸び悩み景気回復への勢いはまだまだ弱い状況で推移いたしました。外食産業におきましては、デフレによる低価格化が定着し競合他社との競争が一層激しくなるとともに、中食や内食が消費者に広く浸透し始めたこともあいまって依然厳しい経営環境が続きました。

また、本年3月11日に発生いたしました東日本大震災により、当社の主要営業エリアである東北地方を中心に甚大な被害が発生いたしました。当社におきましては一部店舗（校舎）の営業再開が困難となりました。さらに福島第一原子力発電所の事故が重なり、東日本をはじめと多くの企業の経済活動が停滞するなど、今後の経済動向につきましては先行きが懸念される状況となっております。

このような状況の中、当社では、新規出店を抑え、不振店の立て直し、老朽化店舗のリニューアル、新メニューの開発と見直し等既存店の強化と管理コストの削減等に積極的に取り組んでまいりました。

平成22年7月1日にフード インクルーヴ株式会社を吸収合併したことにより、当事業年度末の直営店舗数は264店舗（前事業年度末比5店舗減）、FC加盟店舗数は313店舗（前事業年度末比179店舗増）となり、経営資源の集中と選択を進め、間接コストの低減化を図りながら営業基盤強化に努めてまいりました。しかしながら、競合他社との競争や個人消費の回復の遅れ、さらには需要期である3月の東日本大震災の影響もあり、来店客数が減少し売上高は合併効果により前事業年度比で増収となったものの、コストの増加が上回りました。

以上の結果、当事業年度の売上高は171億97百万円（前事業年度比7.7%増）、営業損失は1億98百万円（前事業年度は2億63百万円の営業利益）、経常損失は75百万円（前事業年度は4億1百万円の経常利益）となりました。また、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額3億35百万円及び減損損失18億13百万円を含む特別損失を25億36百万円計上した結果、当期純損失は27億円（前事業年度は2億92百万円の当期純利益）となりました。

①寿司事業

寿司事業では、FC店舗3店舗を海外に出店した一方で、直営店舗5店舗、FC店舗11店舗が撤退した結果、当事業年度末の直営店舗数は81店舗、FC店舗数は19店舗となりました。お客様の商品動向を高める目的で「逸品紀行」「厳選 旨味祭」「秋の旬鮮市」「冬の旨味祭」「春らんまん」等の季節毎の期間限定フェアを開催したほか、グランドメニューの価格改定や定期的な変更等により、旬の食材をいち早くお得に多くのお客様にお届けすることで、来店頻度増加を目指しました。また、創作寿司や1皿3貫盛りなどの当社オリジナル商品を開発、提供し集客力増加に努めて参りました。しかしながら、主要エリアである東北地方における経済悪化が著しく、個人消費の回復が遅れ客数減少に歯止めがかからない状態が続き、さらには3月の大震災で営業休止を余儀なくされたことも影響し既存店の売上高は前事業年度を下回る推移となりました。特に100円均一の「奥羽寿司製作所」では、市場より鮮魚を導入し他店舗との差別化を図り客単価維持に努めておりますが、売上高拡大は厳しい状況でした。一方で、一部店舗で実施しております宅配寿司につきましては、利用者は増加傾向にあり、今後実施店舗を拡大することで売上増加につなげていきたいと考えております。以上の結果、当事業年度における寿司事業の売上高は57億82百万円、営業利益は1億22百万円となりました。

②居酒屋等事業

居酒屋等事業では、フード インクルーヴ株式会社との合併に伴い直営12店舗、FC店205店舗が増加したほか、直営店舗4店舗、FC店舗8店舗が出店いたしました。一方、直営店舗では不採算店舗の撤退を進め24店舗を閉店、8店舗で業態を変更し、当事業年度末の直営店舗数は143店舗、FC店舗は294店舗となりました。主力業態である「とりあえず吾平」では、客単価の維持向上に注力し、メニュー見直しで2か月に1度フェアメニューを導入いたしました。また効率的な悪化した店舗ではランチ営業を止め夜営業に集中するなど効率重視の営業を展開いたしました。また「ちゃんこ江戸沢」ではグランドメニューを一新し、定期的な季節メニューを導入したことにより、客数減少に歯止めがかかり、売上高の維持につながっております。「村さ来」でも2回2回のグランドメニューの変更と11回のフェアを開催し、お客様に飽きられない品ぞろえを実現させ、高付加価値商品による客単価向上を目指してまいりました。以上の結果、3月の震災の影響により宴会需要の高まる3月の売上高が大幅に減少いたしました。合併効果のため、当事業年度における居酒屋等事業の売上高は107億91百万円、営業利益は4億5千万円となりました。

③教育事業

教育事業では、学習塾2校舎を新たに運営し、また英会話教室ジオスにも新たに参入いたしました。ジオス6校舎を新たに運営したうち、5校舎をNOVA×GEOSとしてリニューアルし、1校舎をNOVAに併合いたしました。震災の被害で学習塾1校舎が再開不能により撤退し、当事業年度末の校舎数は40校舎となりました。NOVA復活3周年記念キャンペーン及び各種イベントの実施により、英会話事業は順調に推移いたしました。以上の結果、当事業年度における教育事業の売上高は6億23百万円、営業利益73百万円となりました。

次期の見通し

既存店舗につきましては、当事業年度同様リニューアルや業態転換など投資を抑えながら売上高の拡大を図ります。次期の見通しにつきましては、売上高157億46百万円（前事業年度比8.4%減）、営業利益25百万円（前事業年度は1億98百万円の営業損失）、経常利益3億61百万円（前事業年度は75百万円の経常損失）当期純利益2億11百万円（前事業年度は27億円の当期純損失）を見込んでおります。

財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (平成23年3月31日)	前事業年度 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産	1,523	1,102
固定資産	10,240	11,939
有形固定資産	4,501	5,125
無形固定資産	823	1,791
投資その他の資産	4,916	5,022
資産合計	11,763	13,042
負債の部		
流動負債	4,119	3,784
固定負債	3,605	2,912
負債合計	7,724	6,696
純資産の部		
株主資本	4,038	6,345
評価・換算差額等	0	△ 0
新株予約権	1	—
純資産合計	4,039	6,345
負債純資産合計	11,763	13,042

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	前事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
売上高	17,197	15,966
売上原価	5,973	5,525
売上総利益	11,223	10,441
販売費及び一般管理費	11,422	10,177
営業利益又は営業損失(△)	△ 198	263
営業外収益	595	406
営業外費用	471	268
経常利益又は経常損失(△)	△ 75	401
特別利益	50	25
特別損失	2,536	979
税引前当期純損失(△)	△ 2,560	△ 552
法人税、住民税及び事業税	97	79
法人税等還付税額	△ 28	—
法人税等調整額	70	△ 924
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 2,700	292

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当事業年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	前事業年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	410	275
投資活動による キャッシュ・フロー	510	△ 807
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,060	△ 259
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 140	△ 790
現金及び現金同等物の 期首残高	276	969
合併に伴う現金及び 現金同等物の増加額	474	98
現金及び現金同等物の 期末残高	611	276

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

当社の主な業態についてご紹介します

—— 当社は回転寿司、居酒屋並びに教育事業を通じて、お客様、フランチャイズのオーナー様、取引先の方々、地域の人々、そして従業員にいたる当社を支え取り巻く人々との共存共栄の実現を目指します。——

仙台平緑

「美味しいお寿司を手頃な価格で楽しんでもらいたい」
創業から40余年、この想いは創業から変わっておりません。

私たちは回転寿司のパイオニアとの自負を持ち、一皿一

皿に真心を込めてお客様にご提供しております。定番メニューの他に季節限定商品、店長のおすすめ、アラカルトなど四季を通じてバラエティー豊かな味がお楽しみいただけます。近年はより便利な宅配サービス（一部店舗のみ）の拡充を図り、売り上げの拡大を目指しております。



『とりあえず吾平』は多様な商品と良心的な価格で人気のダイニングレストランです。ヤングからミドル層、ファミリー層のニーズをつかみ業績を伸ばしております。人気の

秘密は短いサイクルで行われる期間限定メニューの導入。120以上の店舗から販売データを集約し、季節ごとにお客様へ新しい魅力をお伝えしています。旨い！安い！早い！をモットーに現在200店舗を目指し展開中です。ぜひ、木のぬくもりに包まれたたくつろぎの空間で吾平自慢の料理をお楽しみください。



当社の主な業態についてご紹介します



伝統ちゃんこ鍋の自慢は、相撲部屋直伝のレシピに独自の改良を加えたこだわりの極旨スープです。鍋の中では、新鮮で安全な野菜をはじめ自然の恵みをたっぷりうけた鶏や

豚肉、フレッシュな魚介類など素材同士がゆっくりとそれぞれの味わいを醸しだします。鍋の中で繰広げられるこのコラボレーションはまさに絶品。健康でヘルシー、女性のお客様からも高い支持をいただいております。定番のちゃんこ鍋以外にもアラカルト・メニューも多数取り揃えてお客様のご来店をお待ちしております。



「酎ハイ」を生み出した居酒屋の老舗『村さ来』は今年で36周年を迎えました。北は北海道から南は九州まで、『村さ来』ブランドは全国に約180店舗を展開しております。

昔懐かしいつくりで落ちつく空間と心温まる接客、どなたでもお楽しみいただける安くて旨い定番メニューから彩り豊かな創作料理でお客様をおもてなしいたします。





『アントニオ猪木』氏をメインキャラクターにした日本を元気にするテーマレストランです。懐かしのプロレス映像が店内に流れる中、プロレス技や選手名からネーミングさ

れたボリューム満点のメニューをご提供しております。また、店内はアントニオ猪木ミュージアム・ショップにもなっており、ここでしか買えない闘魂グッズやお酒など、オフィシャル店ならではの商品を取り揃えております。



風情あるくつろぎの空間で美味しい旬魚刺身や創作和食はいかがでしょうか。こだわりの料理とお酒を気軽に楽しめるお店が『えん屋』です。鮮魚・本格焼酎・地酒・ワイン

好きな方にお勧めです。和モダンでお洒落な店内となっており、ご利用人数に合わせて区切られた掘りごたつ個室が人気となっております。



当社の主な業態についてご紹介します

海鮮問屋

地魚屋

『地魚屋』は素材にこだわります。季節ごとの旬魚を使用した『地魚屋名物 大皿盛り』を始め、日本全国から探し求めた究極の旬の食材。熟練の料理人がこれら素材の味を前面に引き出します。広々とした店内には、人数に合わせてご利用できる様々なタイプの個室をご用意しております。心を許すお友達と珠玉のお時間をお過ごし下さい。



日本各地の旨い鶏料理が集結するお店、それが『手羽藩』です。美味しいものがある場所に人は集い、笑顔があふれます。各地（藩）自慢の鶏料理を名物メガジョッキ（1リットル入り）と共にお楽しみ下さい。料理のみならず、ゆったりとしたこだわりの空間が各雑誌、新聞などのマスコミに多数取り上げられております。ぜひ、一度お越し下さいませ。



■震災により多くの店舗、本社が被災

この度の震災による当社の被害状況についてご報告いたします。当社は営業エリアとして東北にも多くの店舗を有しておりますが、今回の震災で本社事務所の一部天井が崩落し、外食店舗1店舗、学習塾1校舎で営業再開が困難となり撤退いたしました。さらには、当日休暇だった従業員2名の尊い命を津波によって失いました。

ライフライン復旧後も長期間の休業を余儀なくされた店舗が多数あり、多くのお客様にご不便をおかけすることとなりました。



■避難所に炊き出しの提供

この度の震災により多くの方が避難所生活を余儀なくされましたが、震災直後も幸いにしてガスと水道が使える店舗があり、保管してあった食材を炊き出しとして近くの避難所へ送り届けさせていただきました。この活動は一部の新聞にも取り上げられ、日本赤十字社より感謝状をいただきました。

また、震災後早い時期から店先でテイクアウト販売を開始し、インフラの復旧がままならない近隣住民の方から多くの感謝をいただきました。



■日本赤十字社に義援金を寄付

被災地の一日も早い復興を願い、比較的被害が少なかった関東圏直営店舗を中心に売り上げの5%を寄付する活動を震災直後よりおこないました。結果、総額11,744,363円を日本赤十字社等に寄付することが出来ました。この活動に対する皆様のご理解とご協力に感謝すると共に今後ともご支援を賜りたくご報告申し上げます。

■どんぐり農園 千葉県市原市で農園をスタート

本年3月より当社の新しい取り組みとして、千葉県市原市に障がい者雇用促進を目的とした水耕栽培による農園をスタートいたしました。農園では、水菜・二十日大根を栽培しており、現在は二十日大根の収穫真っ最中となります。今後は、元気で旨みのある野菜作りを目指しスタッフ全員で挑戦してまいります。



■教育事業部 英会話教室GEOS6校舎を譲り受け

平成22年11月に英会話教室GEOS1校舎、12月に5校舎を新たに運営を開始いたしました。(うち1校舎はNOVAに併合) これまで蓄積したノウハウを活かし、GEOS×NOVAとして今後とも教育を通じてより多くの生徒様に『感動』を提供してまいります。

■平祿寿司／奥羽寿司製作所 宅配事業を拡大

ライバル店との差別化、さらに店舗での作業効率を高めるため宮城県を中心に展開しておりました宅配事業を北東北地区の5店舗へ導入いたしました。店舗に直接お越しいただけないお客様や大人数でお寿司を楽しみたいという消費者ニーズにお応えしております。

■アントニオ猪木酒場 元気にイベント開催中！

来店毎に「闘魂継承カード」を発行。お得なポイントを貯めることで常連のお客様の来店動機を高めました。さらにインターネットテレビを使って「飲みネット導入じゃんけん大会」を定期開催。会場となる店内は大いに盛り上がりました。

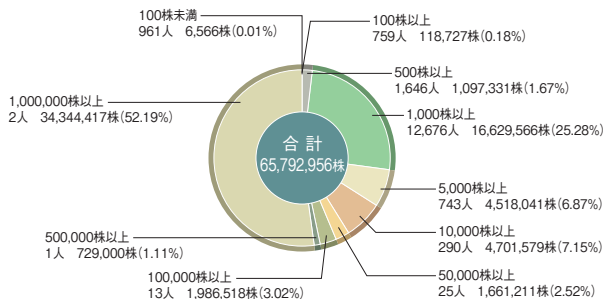
株式の状況／会社情報

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

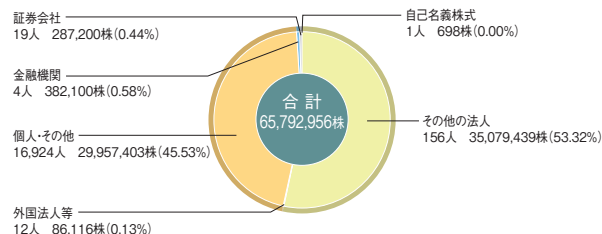
発行可能株式総数…………… 90,000,000 株
 発行済株式の総数…………… 65,792,956 株
 株主数…………… 17,116 名
 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社ジー・コミュニケーション ジー・テイスト取引先持株会	32,960,017	50.10
江川春延	1,384,400	2.10
東金次	729,000	1.11
井深博光	219,100	0.33
株式会社生活考房	200,000	0.30
光世証券株式会社	196,746	0.30
佐藤昌則	187,000	0.28
浅野勉	154,000	0.23
大阪証券金融株式会社	154,000	0.23
	141,400	0.21

所有数別株式構成比率



所有者別株式構成比率



会社概要 (平成23年3月31日現在)

商号 株式会社ジー・テイスト
 会社設立日 昭和34年11月25日
 資本金 1,634,628千円
 事業内容 1. 回転寿司店の経営
 2. 居酒屋店の経営
 3. 各種教室の経営
 4. 関連商品の販売

役員 (平成23年7月29日現在)

代表取締役社長 稲吉史泰
 取締役副社長 川上一郎
 取締役 伊藤雄一
 取締役 扇正信
 取締役 浜野幸也
 監査役 星晴夫
 監査役 小松正美
 監査役 佐藤加代子

ホームページのご案内



ホームページ▼

<http://www.g-taste.co.jp/>

当社のホームページでは、第52期事業報告書ではお伝えしきれない、最新のトピックス、業態ごとの店舗情報、IR情報や今後の戦略など、様々な情報が掲載されています。是非、一度ご覧下さい。

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 3月31日

配当金の基準日 期末配当金 毎年3月31日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡下さい。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-176-417

ホームページアドレス <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 下記当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.g-taste.co.jp>

上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所

株式会社ジー・テイスト

〒984-0042

仙台市若林区大和町5-33-18

TEL: (022) 237-5566 FAX: (022) 237-5570

ホームページアドレス <http://www.g-taste.co.jp>

G.taste